

平成28年2, 3月定例会(条例予算特別委員会総会質疑)

- 質問項目① 「子ども食堂」について
② 「南区の交通対策」について
③ 「国際スポーツ大会の開催」について

3月22日の議会において上記の3点について質問を行いましたので、ご報告します。



《質問の概要》

- ① 平成28年度から実施される「子ども食堂」への支援については、「子供の貧困対策」及び「子どもの居場所づくり」として重要な取り組みであるので、モデル事業としてしっかり課題を把握し、検証した上でよりよい事業展開を
- ② バス停カットや交差点改良などのバスの走行環境の向上は、公共交通をバスに頼る南区住民にとって非常に重要であるため、道路整備予算の確保を含め、しっかりとした取り組みを。また、大橋駅の東口と西口の間の子行き来がしやすくなる方策について検討を
- ③ 世界水泳選手権やラグビーワールドカップなどの国際スポーツ大会は開催することが目的ではなく、その成果を広く市民に還元する必要がある。市民の暮らし及び市民一人一人の心が豊かになるような視点で検討を

平成28年3月

福岡市議会議員 国分徳彦

〒815-0042 南区若久3丁目39-15 TEL(541)1717 FAX(541)3377

平成28年2,3月定例会(条例予算特別委員会総会質疑)

平成28年3月22日(火)「みらい福岡」 国分徳彦 議員

私は、「みらい福岡市議団」を代表して、平成28年度予算に関して、「子ども食堂」について、「南区の交通対策」について、「国際スポーツ大会の開催」について、以上3点について質問いたします。当局の明快な回答を期待します。

①「子ども食堂」について

【質問1】国分徳彦議員

最近よく報道されている「子ども食堂」に関しては、子どもの貧困の問題、子どもが一人きりでご飯を食べる「孤食」やカップ麺などの簡素な食事をすませざるを得ない問題などがあると思われまます。

「この豊かな時代にそんな子が本当にいるのか？」とか「食べさせない親が悪いんだ」と思われる方もおられますが、現実に困っている子どもがいるのは事実であり、子どもたちには何の責任もありません。

まず、福岡市内に「子ども食堂」は何か所開設されているのかお尋ねします。

【回答1】こども未来局長

博多区に2か所、中央区に2か所、城南区に1か所、計5か所開設されていることを把握しています。

【質問2】国分徳彦議員

「子ども食堂」がどのような活動を行い、どのように運営されているのか、また、活動や運営にあたって、どのような支援が求められているのかお尋ねします。

【回答2】こども未来局長

子ども食堂の活動内容は様々で、子どもたちに温かい食事を提供することに加えて、子どもたちが生きる力を身に付けられるよう、大人と一緒に調理をしたり、学習をしたりといった活動を行っている場合もあります。

運営に関しては、開催頻度や、食材・寄付金の集め方、料金設定など、各団体で工夫されており、基本的には自律した運営がなされていますが、継続して活動していくためには、電気代、ガス代などが必要であり、企業や行政等の支援が必要との声もあります。

【質問3】国分徳彦議員

「子ども食堂」への支援として、平成28年度に新たに立ち上げようとしている「子どもの食と居場所づくり支援事業」のあらまし及び予算額についてお尋ねします。

【回答3】こども未来局長

NPOやボランティアなどが行う食事の提供と居場所づくりなどの活動に対し、運営経費の助成などの支援を行うもので、予算額として430万円を計上しています。

【質問4】国分徳彦議員

どのくらいの数の団体等への助成を考えているのか、また、助成を行う団体はどのように選ぶのかお尋ねします。

【回答4】こども未来局長

平成28年度は、すでに実施している団体と新規に立ち上げる団体を合わせて、市内7か所を目安に助成を行いたいと考えています。選定については、広く団体等を公募し、食事の提供を行う頻度や規模、料金設定、食事の提供以外に行う活動などを提案していただき、より子どもたちの支援につながるような事業に助成したいと考えています。

【質問5】国分徳彦議員

既に開設されている子ども食堂に関して利用者が非常に少ないという問題があるようです。その理由として、子ども食堂の存在が地域で知られていないからだと思います。行政が、市内の子ども食堂の情報を集め、その情報を発信したり、問い合わせに応じたり、または、すでに子ども食堂を開設している団体や、これから開設しようとしている団体からの相談を受けるなど、子ども食堂に関する情報センターの機能を担っていく必要があると思いますが、お考えをお伺いします。

【回答5】こども未来局長

子ども食堂に関して、市内の情報を集約するとともに、実施団体等とのネットワークを構築し、適切な情報提供、情報発信ができるようしっかり検討していきます。

【質問6】国分徳彦議員

子ども食堂については、開設数が増え、各地域でバランスよく展開されること、また、その存在が地域の子どもたちにきちんとPRされることが重要です。そのためには、学校を通じて全校生徒に呼びかけるなどの取り組みも必要と思われます。

また、子どもが一人だけでも入りやすい環境づくりなども検討する必要があります。そうでなければ、結局は、わずかの子どもの支援にしかならず、多くの困っている子どもたちの支援につながらないと思います。

そうすると、できる限り各地域に、例えば、校区ごとにでも、子ども食堂を開設できるようなやり方を考えるなどの検討も必要となります。

子ども食堂は、単に食事を提供するだけでなく、一人で食事をしなければならない子どもに温かい居場所を提供したり、生活に追われている家庭を支えたりといった「子供の居場所づくり」の役割を担うものだと思います。

行政としてその活動を支援することは、意義があることであり、息の長い支援としていただくためにも、まずは、モデル事業として実施し、さまざまな課題を把握し、検証を行った上で、よりよい形で事業を広く展開していただきたいと考えますが、ご所見ををお伺いします。

【回答6】こども未来局長

「子ども食堂」の支援は、市としても初めての取り組みであり、実際に支援を行って行く中で、様々な課題が出てくるものと考えている。よりよい形で展開していくため、国分議員ご指摘のとおり、平成28年度においては、「モデル事業」と位置付け、実施する予定としている。課題等を整理し、修正・改善等を加えながら、次年度以降の展開を図っていききたい。

②「南区の交通対策」について

【質問1】国分徳彦議員

7区の中で唯一、地下鉄がない南区においては、バスが市民の重要な移動手段となっていることを改めて認識していただいたうえで、質問していききたいと思います。まず、過去3年間の全市及びそのうち、南区役所が実施する道路整備関連予算額についてお尋ねします。

【回答1】道路下水道局長

過去3年間の全市における道路整備関連予算額は、平成26年度が約213億円、平成27年度が約205億円、平成28年度が198億円を計上しています。

過去3年間の南区役所が実施する道路整備関連予算額は平成26年度が約12億円1000万円、平成27年度が約10億9500万円、平成28年度が約10億5100万円を計上しています。

【要望】国分徳彦議員

平成27年の12月議会において、私が南区の交通対策について、質問をさせていただきましたが、その時に市長からは「バスの走行環境の向上も含め、バス交通の総合的な対策に積極的に取り組む」というご答弁がなされておりますが、どこに配慮があるのでしょうか。予算だけがすべてではありませんが、これからお尋ねするバス走行環境

の取り組みをはじめ、道路整備を行うためには、十分な予算が必要であると考えており、市長に改めて、南区はもとより各区の道路整備予算の増額についてしっかりと配慮していただきたいと強く要望しておきます。

【質問2】国分徳彦議員

平成27年12月議会後における、南区のバスの走行環境の取り組み状況についてお伺いします。

【回答2】道路下水道局長

南区管内における片側1車線道路のバス路線において、バス旅行速度調査やバス運転手へのアンケートを基に、課題のあるバス停28箇所、交差点19箇所を抽出し、事業計画の検討を行っています。

【質問3】国分徳彦議員

バス停カットや交差点改良を行う目的や取り組み内容、構造についてお尋ねします。

【回答3】道路下水道局長

バス停カットについては、バスの停車による後続車の交通阻害に対応するため、歩道に切り込みを入れてバス停車帯の設置を行うものであり、標準的には40mの長さで幅員3.5mが必要ですが、交通や道路の状況等を踏まえ決定しています。

交差点改良については、右折車による直進車の交通阻害に対応するため、右折レーンの設置を行うものであり、都市部の一般道路では45mの長さで幅員約3mの確保が望ましいとされていますが、交通や道路の状況等を踏まえ決定しています。

【質問4】国分徳彦議員

バス停カットや交差点改良は引き続き、スピード感を持って進めていく必要がありますが、平成28年度の具体的な取り組み内容についてお尋ねします。

【回答4】道路下水道局長

平成28年度は現在の道路幅員内で対応可能な箇所である長住3丁目交差点の改良や松本池バス停のバス停カットの事業化を予定しています。

【質問5】国分徳彦議員

バス停カットや交差点改良には、ある程度の道路用地が必要と考えますが、これらの道路用地を取得し、工事を実施することを考えますと、対策が終わるまでにかかなりの時間や費用がかかると考えられます。課題のあるバス停や交差点における今後の取り組みの考え方について、お尋ねします。

【回答5】道路下水道局長

用地買収が必要な箇所においても、簡易な工作物の移設で対応が可能な箇所など、地権者の協力を得やすい箇所を優先的に進めます。また、建物が支障になる場合は、事業協力者への負担が大きく、移転等に日時を要することや、多大な補償費を要することから、経済性等も踏まえながら検討を行います。

【質問6】国分徳彦議員

バスの走行環境の向上は、公共交通をバスに頼る南区の市民にとって非常に大事な取り組みであることから、しっかりと進めるべきと思いますがお考えをお伺いします。

【回答6】道路下水道局長

現在事業中の屋形原1丁目交差点の改良を推進するとともに、事業効果や早期実現の可能性などを見極めながら、関係機関との協議調整を進め、バスの走行環境の向上に向け、バス停カットの整備や交差点改良など、しっかりと取り組んでいきます。

【質問7】国分徳彦議員

西鉄大橋駅の東口ではバスがロータリーへ乗り入れており、特に朝・夕には通勤や通学などで多くの人が行き来しています。一方、駅の西口には、店舗が多く集まっておりますが、バスの乗り入れが行われておらず、東口と西口で様子がかかなり違うといつも思っています。そこで、西鉄大橋駅へのバス乗り入れに関する大橋駅東口及び西口の整備の経緯についてお尋ねします。

【回答7】道路下水道局長

大橋駅地区では、土地区画整理事業や連続立体交差化事業などにより市南部の広域拠点にふさわしい都市基盤を形成してきており、駅東口については、交通結節機能を高める整備を行ってきたところです。

一方、大橋駅西口については、平成19年度に地域代表、商店街代表、学識、交通管理者などで構成する大橋駅西口周辺公共交通空間整備研究会において、バスは乗り入れず、歩行者にやさしい空間をつくる方向で整理されています。

【要望】国分徳彦議員

再整備の結果、現在、駅の西口へのバスの乗り入れが難しくなっていますが、今後の時代の流れを感じ取りながら、将来的には、駅の西口に人を呼び込めるよう、駅の東西をスムーズに人が行き来できるように考えるべきです。

また、現在、駅の東口と西口の駅前広場に行き来するには、駅舎の中央の階段を通らなければなりません。買い物などの荷物を持ちながらの上り下りは大変です。特にお年寄りの方にとっては大きな負担となります。

この段差を平らにすることができれば、バスを待っている間に西口商店街で買い物をするなど、駅の東西の回遊性が向上することにより、街ににぎわいを取り戻すことができると思います。

今後、駅舎の改修にあわせてフラット化を行うなど、駅の東西の回遊性の向上や駅の結節機能の強化の観点を視野に入れ、地域の意向を踏まえながら、活気あるまちづくりに取り組んでいただくよう要望します。

③「国際スポーツ大会の開催」について

【質問1】国分徳彦議員

平成33年の世界水泳選手権の福岡市での開催が決まりました。また、平成31年に日本で開催されるラグビーワールドカップについても、福岡市での試合開催が決定しています。このように、福岡市では大規模なスポーツ大会や、東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地の招致など、スポーツに関する明るい話題が続いております。

しかし、開催の決定はある意味スタートでしかありません。今後、大会を成功させることはもちろんですが、大会の開催を通じて、福岡市をさらに発展させ、市民にも広くその果実を享受していただくこと、これこそが、大会開催の本当の意味での成功であり、求めるべきゴールであると考えます。

まず、平成28年度予算案における、大規模な国際スポーツ大会の招致・開催に関する経費とその内訳をお聞きかせください。

【回答1】市民局長

大規模国際スポーツ大会開催関連予算として約1億300万円を計上しています。そのうち、ラグビーワールドカップに係る、組織委員会への分担金や地域計画の策定や準備、機運醸成のためのイベント開催、キャンプ招致経費などが約9千7百万円、世界水泳選手権に係る、機運醸成や、開催に向けた準備等の経費が約6百万円です。

【質問2】国分徳彦議員

福岡市での開催が決めた世界水泳選手権の概要及び招致の経緯についてお尋ねします。

【回答2】市民局長

平成27年にロシアのカザンで行われた際は、190か国・地域から2,413人の選手が参加するなど世界最大の国際水泳大会です。2年に1度、7月から8月にかけての17日間、競泳、シンクロナイズドスイミング、飛び込み、水球、オープンウォータースイミング、ハイダイビングの6種別が実施されます。

福岡市は、平成27年12月議会で招致に取り組むことを正式表明し、平成28年1

月にハンガリーのブダペストで開催された国際水泳連盟理事会においてプレゼンテーションを行い、カタールのドーハ、中国の南京との接戦を制し開催都市に決定されました。

【質問3】国分徳彦議員

カタールのドーハや、中国の南京との競争に勝って招致できた理由をどうお考えなのかお尋ねします。

【回答3】市民局長

ウォーターフロントエリアを中心にコンパクトな開催を目指したこと、平成7年のユニバーシアード、平成13年の世界水泳選手権など、過去の大規模国際スポーツ大会の開催実績、スポーツ庁や日本水泳連盟と一致団結して招致に取り組んだこと、地元経済界や市議会からご支援いただいたことなどが理由として挙げられます。

【質問4】国分徳彦議員

世界水泳選手権福岡大会をどのように開催する予定なのか、その概要をお尋ねします。

【回答4】市民局長

マリンメッセ福岡など、ウォーターフロントエリアを中心に、コンパクトな開催を想定しています。また、平成13年の福岡大会同様、既存施設における仮設プールで開催するなど、事業費の面でもコンパクトな開催を目指していきたいと考えています。詳細については、今後、国際水泳連盟などのご意見もお聞きしながら、開催計画、運営計画等を作成する中で検討します。

【質問5】国分徳彦議員

ラグビーワールドカップや世界水泳選手権など大規模なスポーツ大会を開催する意義や効果にはどのようなものがあるとお考えなのか、お尋ねします。

【回答5】市民局長

観戦や選手たちとの交流により、市民の皆様がより一層スポーツに親しみ、市民スポーツの振興につながり、大会や選手のニュースが全世界に流され、福岡市の知名度や都市ブランド力が向上し、選手や関係者、観客等が訪れることによる地域経済の活性化などがあげられます。

【質問6】国分徳彦議員

どれほど大きく、素晴らしい大会の開催を勝ち取ったとしても、開催すること自体が目的ではありません。こうした大会の開催をきっかけに、福岡市がより素晴らしい都市へと発展し、その恩恵を受けて、市民がより豊かで、充実した生活を送れるようになること、そして、そのことを市民が実感できることが本来の目的であると考えております。

また、こうして次々に大規模な国際スポーツ大会が福岡市に招致できているのは、多くの市民のボランティアとしての協力や、来られた方を温かく迎え入れるおもてなしの暖かさなど、いわば福岡市民のレベルの高さが評価されているとも聞いております。

そうであればなおのこと、そこから生まれた成果、つまり果実は、広く市民に還元されるべきであると考えます。

果実は2つあると考えます。一つは精神的、つまり心が豊かになる果実であり、もう一つは、物質的、つまり経済的に豊かになる果実であります。

そこで、これら大規模なスポーツ大会の開催を通し、福岡市民に対し、精神面及び経済面でそれぞれどのように具体的に果実を還元させるのか、高島市長の考えをお聞きし、私の質問を終わらせていただきます。

【回答6】高島市長

大規模スポーツ大会開催の果実とその市民の皆様への還元についてでございますが、まず、2019年にラグビーワールドカップ、2020年に東京オリンピック・パラリンピック、2021年に世界水泳選手権と、3年連続で世界的なスポーツ界のビッグイベントが予定されており、そのうち二つが福岡市で開催されます。これらの大会や選手のニュースが、連日、全世界で放送されることにより、市民の皆様が、日々の生活を送る街への誇りや愛着へと、つながっていくものと考えております。

また、子ども達の目の前で世界記録が生まれたり、活躍している選手に握手をしてもらったり、といった貴重な経験は、計り知れないものがあり、今後、成長していくうえで、大きな糧となるものと考えております。

さらに、2021年の世界水泳選手権では、世界中から一万数千人の選手・関係者が参加されることが見込まれており、その経済波及効果は、政策投資銀行九州支店の試算によりますと310億円にも上り、福岡市の地域経済に、潤いと活力をもたらすものと考えております。

国分議員ご指摘のとおり、大規模スポーツ大会が開催されることで、福岡市をさらに発展させ、市民の皆様にも広くその果実を享受していただけたらと考えております。

今後とも、多くの人々に夢や希望、感動を与え、市民の皆様の活力の源泉となるスポーツの振興に、しっかりと取り組んでまいります。